

トレイン利用者の皆さまにお願い

練馬オリエンテーリングクラブ

2020/2 更新

『光が丘公園』『光が丘の四季』『大泉秘境Ⅱ』『石神井溪谷』の地図をご利用いただき、ありがとうございます。これらの公園は、東京 23 区内にありながら自然林も広がっており、オリエンテーリングを十分楽しむことができます。この貴重なトレインを今後も継続して利用できるようにするため、練馬オリエンテーリングクラブでは、以下のような注意点をまとめてみました。記載内容をご理解いただき、遵守していただきますよう、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

1. テレインの利用手続きについて

一般に広く参加者を募るイベント（いわゆる大会）

光が丘公園など都立公園では一般に、公共性の高いイベントのみ開催が可能だということです（ただし、公園ごとに微妙に状況は異なるようです）。具体的には、国または地方自治体の主催か、または後援名義の取得が必要だということです。イベントの開催日程などを決める前に、まずは公園のサービスセンター（管理事務所）で事前の打ち合わせを行い、最終的には東京都公園緑地事務所での許可手続きなどが必要になります。大会などのイベントの開催をお考えの場合は、手続き方法などをご案内しますので、まずは当クラブまでご相談ください。

クラブ内の練習会として利用

以前とは状況が異なり、当クラブが地図を管理している公園（光が丘公園など）では現在、コントロールフラッグを樹木や街灯などにくくりつけることはできず、地面に直接置くかミニコーンなどを使って設置していただくように公園から指示されております。大変お手数をおかけしますが、そのような形での設置をお願いします。もし必要でしたら、ミニコーン借用のお手伝いをすることも可能です。また、公園内に設置するものとしては、コントロールフラッグやユニット、ミニコーンなど最小限のものに限定し、看板やテントなどは設置しないでください。スタート枠はすざらんテープを地面に這わせた程度のごく簡単なものにしてください。

公園利用の手続きとしましては、以下のような流れになります。

- 1) まずは当クラブまで、練習会を開催したい旨を、メール [nerimaolc\[at\]gmail.com](mailto:nerimaolc[at]gmail.com) ([at]は@に置き換えてください) にてご一報ください。万一、トレインクローズなどの制限などある場合には、その時点でご連絡いたします。
- 2) 次に、サービスセンター（管理事務所）にお電話していただき、オリエンテーリングの練習会を実施したいということで、日付とだいたい的人数をお伝えください。たとえば、「x月y日にz名程度でオリエンテーリングの練習会を行いたいと思いますが、大丈夫でしょうか？問題なければ、近々利用申請に伺います。」という感じです。万一その日に何か大き

なイベントがあると断られる場合がありますが、だいたい実施 OK となると思います。

- 3) お電話にて公園の OK が出ましたら、再度メールにて当クラブまでご連絡ください。地図をご用意いたします。
- 4) 練習会実施日の遅くとも 3~4 週間程度前までにはサービスセンターに直接出向いて、団体利用届に記入してください。これは、上記 2) の電話での「近々利用申請に伺います」の部分に相当します。こちらは現地にしか書類がありません。コース設定の下見を兼ねて公園まで出向いていただき、書類に記入していただくのがいいと思います。

以上です。


ご不明な点がございましたら、当クラブ [nerimaolc\[at\]gmail.com](mailto:nerimaolc[at]gmail.com) ([at]は@に置き換えてください) までお問い合わせください。

2. テレイン利用規約

テレインのご利用にあたっては、以下の項目を厳守してください。

- 立入禁止エリアに入らないように徹底してください。
- フラッグは地面に置くか、ミニコーンなどを使用してください。
- 光が丘体育館内 1 階の更衣室は使用しないように注意してください。
- 他の公園利用者と衝突事故などを起こさないように十分注意してください。
- 石神井溪谷では、さらに注意事項があります。
- テレインに設置したものは使用后すべて撤収し、ゴミなども持ち帰ってください。
- 地図を無断で複製しないでください。カラーコピーは禁止させていただきます。

それぞれについて、以下で詳しくご説明いたします。

- 2.1. これらの公園には、野鳥保護エリア、昆虫保護エリア、たんぼ保護エリア、花壇など、多くの動植物保護エリアが設けられています。それらのエリアは、立入禁止区域の記号  で表記しています（凡例では、「動植物保護エリア・花壇（立入禁止）」と表記）。それらのエリア内には絶対に入らないように参加者に徹底してください。いくつかの動植物保護エリアの境界は通過可能な柵になっていますが、柵を越えて中に入らないように注意してください。またコースを設定する際は、これらの立入禁止区域に立ち入らないようなコースを設定してください。
- 2.2. アングルを土に刺したり、フラッグを紐で木や街灯にくくりつけたりすることはできなくなりました（2018年より）。フラッグは地面に直接置くかミニコーンなどを使用してください。
- 2.3. 光が丘公園で着替えをする場合、光が丘体育館内 1 階の更衣室は使用しないように注意してください（1 階更衣室は体育館利用者専用です。クレームが入っているらしいので要注意で

す)。体育館裏の通用口付近に、外ロッカー兼更衣室があるので、体育館の窓口に言えばそちらを利用できます（普段は施錠されているので、窓口に言って開けてもらいます）。

2.4. 『光が丘公園』で、練習会を含む競技オリエンテーリングを実施する場合は、北東のフィールドアスレチックエリアとバーベキュー場は、以下のような感じで立入禁止としてください。

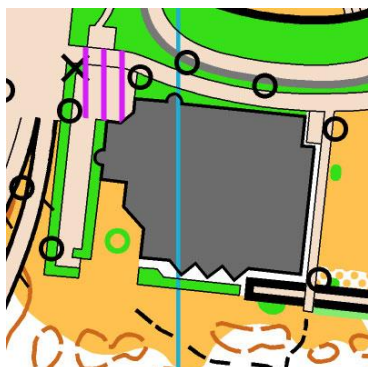


また同様に『大泉秘境Ⅱ』では、以下の砂場エリア（通年）と水場エリア（夏休み期間のみ）を立入禁止としてください。



これらの場所では、多くの子ども達が遊んでいて、接触などの危険性が高いためです。たとえば、読図講習会などのように歩いて移動する場合は立ち入り可能ですが、子ども達の動きには十分注意してください。

また、光が丘公園の図書館玄関前は、駐輪場があって狭くなっている上に人通りが多いです。もし、ここを通過するレグがあるときは、図のように立入禁止にすることを検討してください（ごく少人数の練習会では、そのまま実施可能だとは思いますが）。



光が丘公園芝生広場の南西部は、土日は「プレーパーク」として、子ども達の遊び場になる場合があります。立入禁止にまでする必要はありませんが、できるだけこのエリアを突っ切らないようなコース設定にしてください。



大泉さくら運動公園にはバーベキュー広場（以下の縦線エリア）があり、春から秋にかけての休日はかなり混雑しています。こちらは立入禁止にする必要はありませんが、このエリアにコントロールを設置したり通過する場合は、バーベキューを楽しんでいる来園者の迷惑にならないように、参加者に徹底してください。



また、上記の場所以外でも、公園には多くの来園者がいます。ランニングしている人も多く、またスピードを出して走っている自転車も多いです。衝突事故がないように十分注意してください。

- 2.5. 『石神井溪谷』では、西側の三宝寺池の周囲が木道になっており、地図では右のような赤色の特殊記号で表記しています。これらの木道は走行禁止としてください。また、できるだけこれらの木道を通らないようなコースを組んでください。



右に示す野外ステージは有料施設なので、スタート・ゴールや集合場所としては使用しないでください。利用している団体がいない場合（ステージが利用されているのは年間10日程度）、コース途中で通過することは可能です（立入禁止にする必要はありません）。



トレイン中央部を南北に、交通量の多い道路（バス通り）があります。この道路を横断する場合は、信号機付き横断歩道を渡ってください。その他の車道は、交通量はそれほど多くないものの、通行する際は車に十分注意してください。

石神井溪谷のトレインには、都立石神井公園以外に、練馬区立松の風文化公園および練馬区立池淵史跡公園が含まれます。



このうち、練馬区立松の風文化公園（赤枠）では、次のような制約があります。

- 園路も含め、自転車の乗り入れは禁止です。
- 多目的広場（公園内北西にある野球やサッカーができるようになっている広場）が団体利用している場合は、通過禁止です。団体利用していない場合は通過可能ですが、冬期は芝生の養生のため閉鎖され、また毎週月曜も芝生の手入れのため通過不可となります。

2.6. 練習会では、公園内に設置するものとしては、コントロールフラッグやスタートユニット、ゴールユニットなど最小限のものに限定し、スタート枠や看板、テントなどは設置しないでください。また、公園内に設置したものは練習会終了後すべて撤収し、ゴミなども持ち帰ってください。

2.7. 地図を無断で複製しないでください。カラーコピーは禁止させていただきます。

2.8. 地元住宅地への渉外が完了していませんので、『光が丘の四季』および『光が丘の四季 (South Edition)』では、当分の間、コントロールを設置しないフォト O などでの利用に限定させていただきます。ご了承ください。

その他、特記事項

- 3.1. 光が丘体育館前のけやき広場でフリーマーケットが開催されることがあります（通常は、毎月第2第4日曜）。フリーマーケット団体のHPなどをチェックし、フリーマーケットの開催日は避けることをお勧めします。
- 3.2. 森林トレインと異なり、人工的な変化の頻度が高いです。頻繁に工事が行われたり、ヤブの手入れが行われたりしています。たとえば、通行不可のヤブが刈り取られ、1日にしてAの林に変身してしまうことがあるので、注意が必要です。工事についても、1週間でその状況が変わります。また、落葉樹が多いため、夏と冬ではかなり林の雰囲気異なります。可能な限り、前日または数日前に、現地の最新状況を確認することが望ましいです。
- 3.3. 残念なことです。フラッグやパンチ台が持って行かれる可能性があるため、注意が必要です。当クラブが行った練習会では、1日でコントロールフラッグ（吊り下げ式）が3つ持って行かれました。EMIT ユニットですと金額的な代償も大きいため、なんらかの自衛策を考えることをお勧めします。
 - 園路脇ではなく、林の中に設置したコントロールであれば、比較的大丈夫なようです。
 - パンチ台を使用する場合は、地面に固定されているため、吊り下げフラッグよりも安全かもしれません。
 - 「オリエンテーリング練習会実施中。さわらないでください。」などと書いた札を各コントロールフラッグにぶら下げておくのは効果があると思います。

ご参考：パークOツアー 2011 光が丘公園大会で使用した札



- あと、範囲が広いのであまり現実的ではないですが、多くの役員が確保できるなら、積極的にパトロールする、など。
- 3.4. 光が丘周辺は歩車道分離になっていて、大江戸線光が丘駅から光が丘公園に移動するとき、迷いやすいです。練習会の参加者には、以下のように案内することをお勧めします。

都営大江戸線光が丘駅下車。A3 出口で必ずエレベーターに乗り、2F で降りる。
歩行者専用通路に出て、北に徒歩5分ぐらい。

- 3.5. 『大泉秘境Ⅱ』は、東京都立の「大泉中央公園」と、練馬区立の「大泉さくら運動公園」の2つの公園にまたがっています。区分は以下のようになっています。練馬区立公園の利用についても、基本的には都立公園に準じます。

